

令和5年度 第2回議会報告会 まとめ

1. 開催日 令和5年11月12日（日）
2. 場所等 1回目 AM 10:00～11:50 国府支所2階会議室
2回目 PM 2:00～4:30 保健センター2階研修室
3. 出席議員 吉川重雄議長、二宮加寿子副議長、橋本秀彦議員、鈴木たまよ議員、
亀倉弘美議員、玉虫志保実議員、竹内恵美子議員、鈴木京子議員、
石川則男議員、清田文雄議員、高橋英俊議員 毛利泰輔議員、
おかみゆき議員、庄子幸太議員
4. 参加人数 1回目（国府支所）会場参加人数 10名
2回目（保健センター）
会場参加人数 14名 オンライン参加 2名
5. アンケート結果 別添のとおり
6. 報告会における町民からの質問及び意見等

午前の部（国府支所）AM10:00～AM12:00

○第一部 令和4年度決算の報告

- (問) 職員の働き方改革の報告は見えづらい。民間のようなパワハラ防止法対応の相談窓口はあるのか。
- (答) 4年度決算のおおまかな数字だが、質疑はこのくらいだった。もっと具体的な見える化が必要と思う。相談窓口は重要な指摘。今後につなげる。
- (問) 下水道事業の河川の浚渫は東の地域が多いようだが、不動川上流のジャングル状態のところの対策はあったか。
- (答) 寺坂公民館北側の蛇カゴまでは県が維持管理しているので県に要望を出している。
- (問) 護岸だけでなく竹藪はどうか。
- (答) 町部分に関しては、町に要望する。
- (問) 全体的な印象として、働き方改革をはじめ、データで単年度ではなく、年度比較をしないと、質問しづらい。議論できる形であるとうれしいが。
- (答) 貴重な意見と思う。職員数は国の示す基準の260名だが、予算規模は大きくなり、仕事量は増えている。見える化を図って、具体的な質問にいかしていく。
- (問) 突っ込みどころの無い資料。町のふるさと納税の返礼品は魅力的ではないと、町外に住む親せきから聞いた。もっと工夫が必要ではないか。

(答) 問題あると認識している。税金のマイナスはあるが、地方交付税で3/4は措置されるので、額は減る。特産品だけでなく、資源を生かす魅力を考えたい。

(問) 金額的なことだけでなく、町の活性化を考えて形にしたらいいいのでは。プロサーファーが観光資源というのは違和感がある。

(答) ご意見は貴重、活かしたい。前年度比では寄付金は3倍に、返礼品も増やしているが、工夫を求めている。

(問) 旧吉田邸に1,000万円かけているが、収入はもっと増やせないのか。ランチやお茶の提供、会議室の提供などが可能では。吉田茂にまつわるお酒やワインリストも生かしたらどうか。

(答) 公園法で食事提供できないと聞けるが、やっているところもある。来年度に活かしたい。

○第二部 明治記念大磯邸園の報告

(問) 国が投資した分をどういう計画で回収するのかを示してほしい。

大磯町の150年後どうしようかという事が見えてこない。

町から150年先のことまでの説明は受けていない。

(答) 今後は国と町との調整が必要となり入場料金などに関してはこれから決まることとなる。よって、国と町の入場料配分で回収計画がみえてくることから、まだ明確に決まっていなのが現状。

(問) 無計画という事か。

(答) 入場料含む収益を一部に充てていくという事でご理解を。今回の資料が最新の情報としてお伝えできる内容となる。

(問) ランニングコストが明確に示されていない。

(答) 赤字を出さないようにとご指摘があった。そのようなことを内容に取り組んでいく。

○第三部 グループによるフリートーク

Aグループ

・待機児童対策として施設建設で問題になっているが、現在の施設に保育士を増やすだけでも何人かの待機児童対策になる。箱物も大事だが保育士の確保も重要ではないか。

・高齢福祉の問題で、在宅での看護が出来るよう、介護福祉サービスの充実を。高齢者のごみの収集についていっそうの充実を。

・町内に産科を。

・子供会の存続について、子供会をどうしたら解散しないよう出来るか。

・消防庁舎の老朽化について。

・空き家対策や、役場の各種手続きについてワンストップ窓口にしてほしい。

・川尻公園の洪水対策をしてほしい。

・観光、観光といっているがまだまだ、観光政策が足りないのでは。

Bグループ

- ・空き家問題に対して、町の対応をお願いしたい。
- ・近所で3年前からゴミ屋敷問題が発生し、親族（妹）が対応しゴミ屋敷は一旦解決したが、本人病気がちで近所との付き合いもなく、親族も不介入（断絶）状態で空き家となった。
- ・近くで、4軒の放火があった。近所は不安。
- ・当該の家の隣が売りに出たが、半値でも売れない。
- ・ゴミ屋敷が片付いた状態で、特定空き家指定もされていない。（大磯町に指定1件もない）
- ・現状の所有者・財産相続がだれか分からないが、令和6年4月より管理不良建屋の指定ができて、税金が6倍になる。この様に罰則的が有効と考える。
- ・安心して相談できる不動産屋を町から紹介してほしい。
- ・町への相談で、それは他の部署・県などへと、たらい回しの対応。
- ・中丸の川尻公園部分（不動川・葛川の合流点）の高潮・洪水対策をお願いしたい。

Cグループ

- ・10年先、100年先の大磯をどうしたいかというグランドデザインが見えてこない。
- ・全体のなかでどういう戦略を立てていくかというところで公共施設の在り方やふるさと納税、大磯まつりのコンセプトなどが決まってくるものだと思う。
- ・大磯のいいところとは何なのか、それをしっかりアピールして競争力アップにつなげていく必要があるのではないか。
- ・行政サービスや公共事業の在り方について。
- ・観光事業はプラスを生まなければいけないものであるから、明治記念大磯邸園を考えると、周辺に宿泊施設がなく、せっかく大磯に観光客が訪れても、お金を落とすチャンスとなる宿泊で箱根や湯河原に流れてしまっただけでは大きな損失だ。
- ・教育に関しては、いじめ問題など、子どもを取り巻く大人たちの信頼が大きく損なわれている現状を憂う声上がり、専門家を導入するだけでなく、学校現場をよく知る校長経験者などの再任用の必要性がある。

午後の部（保健センター）PM2:00～PM3:30

○第一部 令和4年度決算の報告

- (問) 下水道事業で借金が毎年増えているが少子高齢化で税収が減り、返済は大丈夫か。
- (答) 資本的収支で令和7年度がピークで、それ以降減っていくと担当課から説明を受けている。
- (問) 下水管の経年劣化はどうするのか。ネズミが管をかじって工事をしたと聞いたが。
- (答) 配管については、老朽化しにくいものを使うと説明を受けている。
- (問) 決算の賛否で特別委員会と本会議の討論の内容があったが、新庁舎や認定こども園を分かり易く説明してほしい。
- (答) 新庁舎に対する議員の考えは二つに分かれている。庁舎の補強ができるか調査をしても二重投資になると疑問の意見もあり、調査委託料は反対された。まずは調査という意見があり、一旦は立ち止まったが進めよとなった。こども園は令和4年の6月に、令和5年の4月から町立幼稚園を廃止する条例が可決された。公立で進めるならまず議会に意見を聞くべきと公立に反対する議員が多かった。今年9月議会で町長がゼロベースで考えると表明したところである。
- (問) 報告は、過年度と比較したら分かり易いと思う。新庁舎で残した4,000万円とは何か。
- (答) 新町長が方針転換をしたため、予算計上した基本計画と基本設計のうち、基本設計をしなかった分の4,278万円である。
- (問) 新庁舎の建設では、いろいろ意見の積み重ねがあったと思う。スーパーエコ庁舎はすばらしいと思っていたので、ぜひ進めてほしい。電気代も高騰している。
- (答) これからの基本設計に生かすことが必要と考える。ZEBも含めて。

オンライン参加者からの質疑は無し

○第二部 明治記念大磯邸園の報告

- (問) 歴史上のマイナスの面も必要ではないのか。もしそのようなことが議論であったら教えてほしい。
- (答) 国の150年記念事業として町が進めてきており、歴史についてのご提案はご意見として受けておく。
- (問) 具体的な運営方針が見えてこない。多目的に使える広場の用途を教えて欲しい。
- (答) 多目的な広場は町が管理する区域で自由に使える広場としてお使いいただける。

<その他の意見>

- ・ 議会報告会なのにこれだけ長い時間を使って説明をするのは違和感がある。議会ではほとんど論議していないことを報告しており、この会は町の事業の報告会ではない。議会の報告をしてほしい。
- ・ 行政からの説明を平成 30～令和 5 年まで一切説明を受けていない。基本計画の説明は受けているが地域住民として詳細がわからない。
- ・ 歴史的建造物がある場所で、どんちゃん騒ぎするための場所ではない。

○第三部 グループによるフリートーク

A グループ

- ・ 下水道会計について、借金が大きいようだが心配だ。返済は？
- ・ 新庁舎問題や子ども園の反対の議論の内容をもっと詳しく聞いたかった。
- ・ 決算報告について、前年と対比しなければ、分からなかった。
- ・ 新庁舎は、ZEB 等環境に配慮した建物を望む。
- ・ 大磯町議会は女性が多いが、女性ならではの政策提言などはあったのか？
- ・ 報告会では質疑の時間を充分にとって欲しい。

B グループ

- ・ 4 年度の決算報告の内容は分かったが、決まった経緯、議員の活動・発言・賛否が知りたい。特に大磯幼稚園の民営化、本庁舎の建て替え問題、明治記念公園については、町の説明も足りない。
- ・ 大磯幼稚園で中崎町長時代、どの様な経緯で民営化に決まったのか？
- ・ 本庁舎はなぜ止まったのか？前の計画の環境に配慮するコンセプトには賛成である。
- ・ 明治記念公園への町のかかわり方、工程説明など近隣に説明不足で、いつの間にか工事が開始された。町は国交省の工事（費用負担）含め、町の工事の内容・行程を説明すべき。
- ・ 明治記念公園は、大磯まつり等とは違う節度あるイベント会場とすべき。主旨にある様に明治の政治家（元勳）を記念しているのだから、勉強の場の施設とすべき。
- ・ 諸々、町の説明が足りない。又、意思決定前に町民の声（アンケート等）を聞くべきである。

C グループ

- ・ 決算報告の税収が減れば国から交付税が措置される地方交付税のシステムについて。
- ・ 明治記念大磯邸園については、継続的な来園者が見込めるかは未知数で、しっかりと有効利用を考えていく必要がある。
- ・ 新庁舎建設については、財政面から耐震補強で済ませることはできないのか。

○全体として

- ・フリートークの比重を増やしていく方が町民の関心が高まると思うが、質疑応答など役割分担の課題を見直す必要がある。
(今回は質疑応答を発表者がする形で負担が偏ってしまったのは反省)
- ・報告会という形式で年2回、2時間と決められて行うという実施要項と運用基準が実態に合っていないように思うので、見直しも視野に検討されてはいかがか。
- ・会場参加、zoom参加者を合わせて想定すると、長い報告では間延びしてしまうので、短時間でたくさんの報告があると質問に繋がりやすいと思った。

○個別として

- ・明治記念などテーマを決めることを見直してみても良いかもしれない。
- ・だより最新号からピックアップしてたくさんの情報を小出しに報告するのはどうか。
- ・会場の質問は一問一答にしたので多くの人ができて良かった。
- ・時間が短いのと回答議員が限られた課題もあった。

以上